

昭和 6 0 年 3 月招集

第 1 回館山市議会定例会会議録

館山市議会



# 目 次

## ○第1号（3月2日）

開 会	9
議長の報告	9
会議録署名議員の指名	10
会期の決定	10
会議日程の決定	10
議案第1号～議案第22号（施政方針、提案理由の説明）	11
延 会	30
本日の会議に付した事件	30

## ○第2号（3月8日）

開 議	33
行政一般通告質問	34
石井 武敏君の質問、当局の応答	34
川名 正二君の質問、当局の応答	51
流山源次郎君の質問、当局の応答	63
山中金治郎君の質問、当局の応答	78
田沢 勝信君の質問、当局の応答	87
日下 君敏君の質問、当局の応答	101
松下 正己君の質問、当局の応答	116
延 会	132
本日の会議に付した事件	132

## ○第3号（3月9日）

行政一般通告質問	136
小宮 利夫君の質問、当局の応答	136
神田 守隆君の質問、当局の応答	146
散 会	164
本日の会議に付した事件	164

## ○第4号（3月11日）

開 議	169
議案第9号	169

委員会付託の省略	1 6 9
採決	1 6 9
議案第 1 0 号～議案第 1 8 号	1 6 9
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 7 0
安西 益男君の質疑、当局の応答	1 7 8
田沢 勝信君の質疑、当局の応答	1 8 1
委員会付託	1 8 5
議案第 1 9 号～議案第 2 2 号	1 8 5
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 8 5
日下 君敏君の質疑、当局の応答	1 8 9
委員会付託	1 8 9
請願第 1 号	1 9 0
説明	1 9 0
委員会付託	1 9 1
請願第 2 号	1 9 1
説明	1 9 1
委員会付託	1 9 2
請願第 3 号	1 9 2
説明	1 9 2
委員会付託	1 9 3
日程の追加・請願書の撤回について	1 9 3
延        会	1 9 4
本日の会議に付した事件	1 9 4
◎第 5 号（3 月 1 2 日）	
開        議	1 9 8
議案第 1 号～議案第 8 号	1 9 8
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 9 8
日下君敏君君の質疑、当局の応答	2 1 0
山中金治郎君の質疑、当局の応答	2 2 1
安西 益男君の質疑、当局の応答	2 2 6
神田 守隆君の質疑、当局の応答	2 3 0

予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	2 3 2
会議日程の変更	2 3 2
延 会	2 3 3
本日の会議に付した事件	2 3 3
○第 6 号 ( 3 月 2 3 日 )	
開 議	2 3 9
議案第 1 0 号～議案第 1 3 号、議案第 1 9 号	2 4 0
総務委員会委員長報告	2 4 0
採決	2 4 2
議案第 1 4 号、議案第 1 5 号、議案第 2 0 号、議案第 2 1 号	2 4 3
文教民生委員会委員長報告	2 4 3
採決	2 4 5
議案第 1 6 号～議案第 1 8 号、議案第 2 2 号	2 4 6
建設経済委員会委員長報告	2 4 6
神田 守隆君の討論	2 4 9
採決	2 5 0
請願第 7 号、陳情第 3 号	2 5 1
総務委員会委員長報告	2 5 1
採決	2 5 1
請願第 1 号	2 5 2
文教民生委員会委員長報告	2 5 2
採決	2 5 3
請願第 3 号	2 5 3
建設経済委員会委員長報告	2 5 3
採決	2 5 4
継続審査について	2 5 4
議案第 1 号～議案第 8 号	2 5 5
予算審査特別委員会委員長報告	2 5 5
採決	2 6 4
議案第 2 3 号	2 6 5
説明	2 6 5

委員会付託の省略	2 6 6
採決	2 6 6
館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	2 6 6
動議	2 6 6
閉 会	2 6 7
本日の会議に付した事件	2 6 8

第 1 回 館山市議会定例会会議録  
(第 1 号)





1 昭和60年3月2日(土曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1番 神田 守隆  
3番 山中金治郎  
6番 生稻 隆  
8番 小宮 利夫  
10番 横溝 功  
12番 石井 謀  
15番 渡辺 昭夫  
17番 近藤 好雄  
20番 石井 武敏  
22番 林 豊  
24番 流山源次郎  
26番 石井 正  
28番 安澤 徳順

2番 田沢 勝信  
5番 川名 正二  
7番 榎本 春光  
9番 福原 勤  
11番 飯田 義男  
14番 伊藤幸太郎  
16番 松下 正己  
19番 黒川 平治  
21番 吉田勇治郎  
23番 伊賀 多朗  
25番 五十嵐 昇  
27番 安西 益男

1 欠席議員 2名

4番 日下 君敏

13番 石井 昌治

1 出席説明員

市長 半澤 良一  
収入役 山田 俊康  
総務部長 川畑喜代志  
経済部長 吉岡 政雄  
教育委員会委員長 杉村 芳枝  
選挙管理委員会委員長 宮澤 茂  
監査委員 鈴木 重司  
農業委員会事務局長 庄司 徹

助役 小倉 澄男  
市長公室長 斉藤 武男  
民生部長 鈴木 力  
水道課長 石井 敏夫  
教育委員会教育長 福原 修  
選挙管理委員会事務局書記長 庄司 利光  
監査事務局長 岩城 昭

1 出席事務局職員

事務局長 高尾 豊  
書記 兵藤 恭一  
書記 土橋 康彦

事務局長補佐 熊谷 吉雄  
書記 鈴木 哲  
書記 熊井 成和

1 議事日程（第1号）

昭和60年3月2日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

議案第1号 昭和60年度館山市一般会計予算

議案第2号 昭和60年度館山市国民健康保険特別会計予算

議案第3号 昭和60年度館山市老人保健特別会計予算

議案第4号 昭和60年度館山市と畜場特別会計予算

議案第5号 昭和60年度館山市ユースホテル特別会計予算

議案第6号 昭和60年度館山市学童災害共済事業特別会計予算

議案第7号 昭和60年度館山市水道事業特別会計予算

議案第8号 昭和60年度館山市国民宿舎特別会計予算

議案第9号 安房郡市広域市町村圏事務組合理約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

議案第10号 国民健康保険山武郡南病院組合を千葉縣市町村公平委員会の共同設置団体から除くこと及び千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

議案第11号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

日程第4 { 議案第12号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第13号 字の区域及び名称の変更について

議案第14号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 議案第 15 号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 16 号 館山市洲崎御手洗山治山事業分担金徴収条例の制定について
- 議案第 17 号 農作物冷害対策経営資金利子補給及び損失補償の負担に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 18 号 館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 19 号 昭和 59 年度館山市一般会計補正予算（第 5 号）
- 議案第 20 号 昭和 59 年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）
- 議案第 21 号 昭和 59 年度館山市老人保健特別会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 22 号 昭和 59 年度館山市水道事業特別会計補正予算（第 1 号）

開 会 午前 10 時 02 分

○議長（石井 正君） 本日の出席議員数 25 名、これより昭和 60 年第 1 回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

#### 議長の報告

○議長（石井 正君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第 121 条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から 12 月乃至 2 月実施の監査の結果及び市長から地方自治法第 180 条の規定による専決処分が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

#### 議案の配付

○議長（石井 正君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

#### 会議録署名議員の指名

○議長（石井 正君） 日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

１１番議員飯田義男君、１５番議員渡辺昭夫君、以上両君を指名いたします。

#### 会期の決定

○議長（石井 正君） 日程第２、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本３月２日から３月２３日までの２２日間ということであります。

お諮りいたします。会期を２２日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって会期は３月２日から３月２３日までの２２日間と決定いたしました。

#### 会議日程の決定

○議長（石井 正君） 日程第３、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました会議日程表は本定例会の大体の日取りの予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして大体このようにしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定い

たしました。

### 議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第4、議案第1号乃至議案第22号の各議案を一括して議題とし、これより昭和60年度施政方針並びに各議案の提案理由の説明を求めます。

### 施政方針並びに提案理由の説明

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに3月定例市議会を招集し、昭和60年度一般会計及び特別会計の予算案並びに諸議案につきまして御審議をお願いすることになりましたが、開会に当たり新年度の市政運営に関する所信を申し述べ、議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

本年は、昭和60年代幕開けの年に当たりますが、21世紀を展望し、新たな時代にふさわしい「都市たてやま」の基礎を確立すべき重要な年と考えております。

最近のわが国経済は、世界景気の回復、物価の安定、新たな技術革新の展開を背景に業種等による跛行性を残しつつも、全体としては順調に推移し、昭和60年度も引き続き着実な進展が期待されています。

しかし、大幅な収支不均衡の状態にある国家財政は、高度経済成長期に肥大した行財政の減量化と、公債依存により悪化した財政構造の健全化を緊急な課題としており、地方においても国に先がけ行政改革を実行し、健全財政の確立を図ってきたところではありますが、今後とも強力に推進し、魅力あるまちづくりにより地域の振興を図ることが強く求められております。

一方、国の全国総合開発計画は、第4次の策定中間報告で、21世紀の未来が提起する新たな課題に先見的に対処していくことの必要性を説いており、高齢化、都市化、技術革新、情報化、国際化などへの対応を課題としております。

こうした中で今、市の将来を展望するとき、県南の地に輝かしい未来を約束する東京湾横断道路への具体的な期待と対策を構想し、さらに、豊か

な人間性と連帯意識に結ばれた市民とともに、生活と生産の調和を図りながら、時代に呼応した生活文化を創造し、この地で生まれ、育ち、生きていく喜びと誇りを感じ得るようなまちづくりを進めていかななくてはならないと考えます。

私は、市長に就任して以来10年、この間、市民福祉の向上を念頭に教育文化の振興、生活環境の整備を市政の最大目標としつつ、行財政運営の合理化を実行し、産業の活性化を図りながら、さらにコミュニティづくりに力を注ぐ等、人間尊重の精神を基調に明日のまちづくりに向け、総合的な対策を実施してまいりました。

迎える昭和60年度は、国の補助金切り下げ等、厳しい財政環境の中にあります。が、「快適なゆとりある生活環境づくり」「健康で思いやりのある地域福祉社会づくり」「豊かな個性をはぐくむ教育文化の環境づくり」「地域の発展を図るための産業の基盤づくり」を主要施策とし、市民生活の安全性向上を図り防災行政無線の設置に着手するとともに、館山駅周辺整備をはじめ、道路、下水路、公園、国道127号バイパスの促進等都市施設の整備を重点に、健全財政の維持を図りながら予算を編成いたしました。

また、本年は、館山市総合計画を策定し、21世紀に向けての施策の方向を明らかにしていく所存ですが、これと並行して、地方公共団体共通の課題であります、地域の魅力と個性を伸ばし豊かでうるおいのある郷土を、市民とともに知恵と工夫を出し合いつくることを目的とした「文化行政の推進」「地域振興対策」について、また、国、県に先がけ対応していかなくてはならない「高齢者生きがい対策」、さらには、「行政事務のOA化」について前年度に引き続き内部的に研究を進めながら、実施に移してまいりたいと考えております。

以下、主要施策の概要につきまして順次御説明いたします。

第1は、快適なゆとりある生活環境づくりでございますが、市民1人1人が安心して楽しく暮らせる、うるおいのある地方文化都市の基礎づくりとして、年次的な整備充実に努めているところでございます。

まず、本市最優先施策として早期着工に向け努力しております館山駅周辺市街地整備でございますが、本年度は、東口地区については権利者の経

普及及び生活設計相談を行い合意形成を図るとともに、再開発の事業化に関しさらに詳細な検討を行うためB調査を実施してまいります。

西口地区につきましては、事業化に向け都市計画の決定を目指すとともに、土地区画整理予定区域及びその周辺市街地の排水対策についてさらに計画を進めていく所存でございます。

次に、都市の骨格を形成する道路でございますが、引き続き地域の実情に即した改良、舗装、橋梁整備を実施し、利便性、安全性等の向上に努めるほか、交通体系上のかなめであります国道127号バイパスの促進、さらには、八幡高井線、館山大橋の補修等都市計画街路事業につきましても積極的に推進してまいる所存でございます。

このほか、都市計画事業としまして、本年度は、56年度から進めていた八幡都市下水路が完成いたします。また、南町排水路、北条中央下水路等の整備を引き続き実施し雨水排水対策の充実を図るとともに、本市観光拠点である城山公園につきましても市民の憩い、語らう総合都市公園として入口広場、駐車場等整備を実施してまいります。

次に、環境汚染対策についてでございますが、懸念される河川、海域等公共水域の汚濁防止を図るため、本年度は、汚濁物質の減量化及び浄化対策について調査研究を実施してまいりたいと考えております。また、当面の措置として、家庭雑排水の減量、浄化槽の適正な維持管理等につきまして住民の理解、協力を得るためPRに努めるとともに、下水路、側溝等の清掃により汚染の防止を図る所存でございますが、これを強力に推進するため衛生課を改組し、環境生活課を設置する予定です。

防災対策につきましては、大規模地震対策を重点に、自主防災組織づくり、資機材の充実に努めておりますが、本年度は、3カ年計画で、新規に防災行政無線の設置に着手し、災害時の情報の伝達、収集と地域防災活動の円滑化を図ってまいります。

上水道につきましては、未給水地域の解消を目指し、62年度の給水を目途に、館野、九重地区の拡張事業の認可を得、水源である井戸のさく井及び浄水場施設の建設を実施してまいります。

次に、市民と行政が分担し合う新しい市民参加のまちづくりを目指し、市民交流と市民の連帯を図っているコミュニティ活動の推進でございます。

が、現在、コミュニティは、各地区において多様な地域活動を展開するに至っており、理想のコミュニティ形成に向かい着実に歩を進めております。今後とも各関係行政施策とコミュニティ活動との連携を図りながら、より良いまちづくりに向け努力を重ねてまいりたいと存じます。

次に、第2は、健康で思いやりのある地域福祉社会づくりでございます。

福祉社会の理想は、子供からお年寄りまで1人1人が健康で安心して幸せに生活できる地域社会を創造することにあります。

近年、核家族化や急速な人口構造の高齢化に伴い、人々の福祉ニーズも経済的、物質的福祉の充実から「心の福祉」重視へと質的に変化してきております。

福祉施策は、これらを踏まえ、現在の福祉水準をさらに向上させていくとともに現行施策の質的改善を図っていかねばならないと考えております。

具体的な福祉施策としましては、従来の社会的、経済的に弱い立場にある方々への各分野における援護対策の充実に加え、本年度は特に、高齢化社会の進行に対応するため、在宅独居老人を対象とした災害防止のための器具の給付並びに高齢者生きがい対策として老人福祉センターにおいて就労等の相談事業を実施いたします。

また、要援護老人対策として、老人ホーム入所判定委員会を設置し、老人ホーム入所の適正化を図ってまいります。

障害者福祉につきましては、本年1月に増築が完了いたしました福祉作業所を拠点とし、障害者の方々の入所を積極的に受け入れその自立助長を図るとともに、安房郡市広域市町村圏事務組合で60年度からの2カ年事業で建設します精神薄弱者の更生施設につきましても積極的に推進してまいります。

その他、福祉全般をわかりやすくした「福祉のしおり」を発行し、啓蒙を図るとともに地域福祉社会づくりの一助といたしたいと存じます。

なお、御案内のとおり国におきます補助金の切り下げにより本市財政も極めて厳しい現況ではありますが、住民の福祉の低下を招かないよう最大限の努力をしてまいります。

次に、健康づくり対策でございますが、治療よりも予防、予防よりも健



康を目標に、総合検診をはじめとする各種検診をさらに充実するとともに、保健センターを活動拠点とした保健婦による母親学級、育児学級、各種健康教室及び健康相談等の実施と家庭訪問を行い、地域における保健推進員による母子保健、老人保健等の相談業務、食生活改善業務等とあいまっての総合的な健康管理に努めてまいります。

次に、第3は、豊かな個性をはぐくむ教育文化の環境づくりでございます。

学校教育につきましては、人格の形成と自主的な精神に充ちた心身ともに健康な児童生徒を育成するため、良好な教育環境を確保し、児童生徒の個性と能力に応じた教育の推進に努めてまいりました。

本年度は、富崎小学校屋内運動場、九重小学校校舎及び那古幼稚園園舎の改築等を実施し、引き続き教育施設の整備充実を図ってまいります。

また、児童生徒の個性や適性に応じた指導方法及び内容の改善を図るため学習分析システムの多角的な活用を促進するとともに、国際化の進展する今日、国際理解と英語教育の充実を図るため引き続き英国人教師の招へい等の事業を推進し、より一層教育内容の向上に努めてまいります。

社会教育につきましては、経済社会の進展に伴いより精神的な充実を求める意識の変化や余暇時間の増加により市民のニーズは多様化、高度化してきているところでございます。

このため、公民館等の講座を創意工夫するとともに施設相互間の連携を図り、さらに、本年度は移動図書館を充実し、図書館利用を促進する等、市民のニーズに即応した学習機会の提供に努め、生涯学習活動を推進し、市民の連帯意識の高揚と郷土愛の醸成に努めてまいります。

また、文化の振興につきましては、市民が日常生活の中で気軽にいつでも優れた芸術文化に親しみ、心にゆとりやうるおいを感じる豊かな生活を享受できるよう造形作品の設置、音楽鑑賞機会の提供等の事業を推進し、文化の日常化に努めるほか、貴重な文化遺産を保存活用する博物館の整備を促進してまいります。

社会体育につきましては、スポーツが健康体力づくりや仲間づくりのために欠かすことのできない大切な要素となっている現在、多様化する市民のニーズに対応した各種スポーツ教室及び大会を開催し、スポーツの日常

化を図るとともに、スポーツ団体の育成を図り水準の向上に努め、幼児から老人までの生涯健康体力づくりを推進してまいります。また、参加者が年々増加し定着してきました館山若潮マラソン大会は、温暖で豊かな自然に恵まれた本市の紹介と市民の体力づくり意識の高揚を図るため、本年度も実施してまいります。

次に、第4は、地域の発展を図るための産業の基盤づくりでございます。

豊かな地域経済は生活に活力とうるおいをもたらす基礎であり、経営の安定、さらには拡大を目指すため、基盤整備等を通じ産業の振興を図る必要がございます。

まず、農業につきましては、農産物の安定供給と省力化を進めるため、土地基盤整備を重点に農道、排水路、ほ場整備を行い、さらには中核農家の育成、高生産性施設園芸農業等の推進を図ってまいります。

水産業につきましては、漁港をはじめこれに附帯する漁具倉庫、漁船巻揚機等の施設近代化を図るとともに、魚介類の種苗放流、魚礁の設置を進め「つくり、育てる漁業」を一層推進し、また、昨年度実施したヒラメの「養殖事業」に加え「放流事業」を実施し、水産物の効率的かつ需要に即した生産と供給を図ってまいります。

商業につきましては、予想される将来の大型店等の進出に伴う商業界の変化への対応を図るため、商工会議所等の関係団体と連携を保ちながら、都市再開発事業と歩調を合わせ、近代化に向けてモデル商店街実施計画の策定を行い、魅力ある商店街の創出を図るなど商業の振興に努力してまいります。

また、中小企業者に対する事業資金の融資を行い商工業の振興を図るとともにあわせて勤労者に対する住宅資金等の融資、労働団体への補助を行い、勤労者の福利厚生に努めてまいります。

次に、観光につきましては、南房総における経済活性化の重点戦略課題として振興に努めており、風土に適合した施設の整備充実を図り魅力を創出するとともに、有効な宣伝活動を展開しているところでございます。

本年は、すでに開設した「館山スポーツの里」を西岬地区へ拡大し、地場産業との連携を保ちながら多季型観光の展開を目指してまいりたいと考えております。

以上の施策を中心といたしまして昭和60年度一般会計予算の編成を行いました結果、歳入歳出予算の総額は93億5697万円で、前年度当初予算に対し2億2485万円の減、マイナス2.3%となっております。

まず、歳入予算の内容についてでございますが、過去の収入実績、国、県の制度改正の動向、社会経済情勢など各種資料及び情報に基づいて財源の確保に努めるとともに、新規財源の捕そくに配意し算定いたしました結果、歳入の柱であります市税では60年度税制改正、経済情勢等を勘案し、課税の適正化等を図ることにより44億668万余円を計上、前年度対比3億2167万余円、7.9%の増となりましたが、依然として小さい伸び率であり、その構成比は、47.1%でございます。このほか地方譲与税1億2444万円、娯楽施設利用税交付金7240万円、自動車取得税交付金9935万円、国有提供施設等所在市町村助成交付金6796万円、交通安全対策特別交付金1000万円で、交付金につきましても大きな伸びは期待できない状況にあります。地方交付税では、国税三税の増収が見込まれるに加え、国庫補助負担率の引き下げに伴う特別措置及び前年度からの繰り越し等から、交付税特別会計借入金利子を控除した交付税交付総額は、10.9%の伸びとなりましたが、個々の団体につきましては、その算定の基礎となる基準財政需要額及び基準財政収入額の伸びの状況により相当の差異が生ずるものであること等を考慮し積算した結果、特別交付税5000万円を含め、13億3500万円で前年度に比較して4.3%の増、構成比は14.3%でございます。

分担金及び負担金につきましては、北条、那古地区におけるほ場整備事業に係る農道整備事業分担金8148万円等、総額で1億9745万余円、使用料及び手数料3億1467万余円、国庫支出金は9億2538万余円で、2億3481万余円20.2%の減となり構成比は9.9%、県支出金は4億5363万余円で6948万余円、13.3%の減となりましたが、国、県支出金につきましては行財政改革の影響、公共事業費の抑制措置等を配慮するとともに、特に国庫補助負担率の引下げに伴う影響に留意いたしまして関係各機関と密接な連絡、情報の収集を行い計上いたしました。

財産収入は6370万余円、寄附金は1581万余円を予定し、それぞ

れ計上いたしました。

繰入金につきましては、財政状況の一層厳しい中で防災行政無線整備事業をはじめ館山駅周辺市街地整備事業、義務教育施設の整備事業等、各般の施策を推進するため財政調整基金1億8000万円を活用し、弾力的な運用を図ることといたしました。

また、59年度予想される余剰金から繰越金で5000万円、諸収入1億9445万余円、市債につきましては、国庫補助負担率の引き下げに伴い、地方負担の増加額5800億円について財源措置を講ずる必要が生じたため、4800億円の建設地方債増発が予定されておりますが、将来の市債の増高と、公債費の抑制に意を用い、極力政府関係資金による市債を予定いたしました結果、財源措置として増発される調整債を含め8億1370万円を見込み前年度対比3億7480万円、31.5%の減、構成比では8.7%といたしました。

次に、歳出予算につきましては、前年度に引き続き一般行政経費におきまして当然増を除き前年度対比マイナス5%以上とする等、従来にも増して事務事業を見直すと同時に事業の適切な選択に配慮し、行財政の簡素効率化、経費の節減合理化を推進し、限られた財源の重点的かつ効率的配分に意を用いまして編成いたしました。

まず、性質別の内容についてでございますが、人件費27億1498万余円を計上、構成比29.0%、物件費9億8775万余円、構成比10.6%、扶助費9億5059万余円、構成比10.2%、補助費等7億7543万余円、構成比8.3%、普通建設事業費23億1017万円で5億4549万円の減、構成比24.6%、公債費は12億4829万余円で1億4465万余円の増、構成比13.3%、その他3億6972万余円となっております。

以下、目的別内容について各款別にその概要を申し上げます。

第1款議会費は、議会運営に要する経費のほか、議会関係の記録等、事務の合理化を推進するため、放送、録音設備の整備費等総額1億7501万余円、前年度対比1239万余円の増となっております。

第2款総務費は、一般管理費、文書広報費、企画費、防災、交通関係費、徴税費と60年10月に実施する国勢調査をはじめ各種統計調査費等総額

で13億9938万余円、前年度対比3億6574万円、35.4%の増、構成比は15.0%となっております。この増額の主な理由といたしましては、大規模地震等に備え、災害発生時の速やかな情報の伝達、収集による民意の安定と、地域防災活動を推進するため3カ年の継続事業により実施を予定する防災行政無線設置に要する経費及びコミュニティ活動の中核として利活用されておりますコミュニティセンター西側の未造成地の造成事業関連経費によるものでございます。

第3款民生費は、福祉作業所の増築完了により障害を持つ方々の自律助長を図るための運営費、地域ぐるみ福祉活動費等社会福祉費、高齢化社会に対応するための老人福祉対策等老人福祉費、児童福祉費及び生活保護費で15億1339万余円、前年度対比1395万余円の増、構成比は16.2%となっております。主な理由は、安房郡市広域市町村圏事務組合で神戸地区に建設を予定しております精神薄弱者更生施設の建設費等に係る負担金によるものでございます。また、ねたきり老人及び独居老人に対する福祉の増進を図るため、日常生活用具につきまして増額措置をいたしました。

第4款衛生費は、3カ年継続事業で実施してまいりました清掃センターの完成によりまして、旧施設であります正木衛生処理場の解体撤去工事費で1500万円、また、最終処分場の施設整備の一環といたしまして、本年度は、搬入道路の舗装及び側溝整備費として1000万円をそれぞれ計上するとともに、国の繰出基準等に基づく水道事業特別会計及び三芳水道企業団への繰出金、負担金として9876万余円、乳幼児医療給付費、健康の保持増進対策といたしまして、保健センターを拠点とした乳幼児から高齢者に至るまで生涯を通じての幅広い健康管理と保健の推進を図り、健康で明るい市民生活の確保に向け総合的な保健体制確立のため、59年度実施いたしました5地区に加えまして、北条、館山地区の総合検診事業をはじめ、各種健康診査及び予防接種、結核、がんの検診等事業費、し尿及びじん芥処理の両施設の維持管理費等で総額8億9777万余円、前年度対比8億34万余円、47.1%の減、構成比は9.6%となっております。

減額の主な理由といたしましては、重点施策として推進してまいりまし

た清掃センター、清掃事務所及び最終処分場等一連の生活環境整備事業の完成によるものでございます。

第5款労働費は、勤労者厚生対策預託金、各種勤労者団体への補助金等、勤労者の福利厚生を増進を図るための経費として801万余円を計上いたしました。

第6款農林水産業費は、農業費として、農用地の有効利用と合わせ経営規模の拡大及び技術の改善を推進し、生産性の高い農業の確立を図るため、いちご水耕栽培プラント導入事業、ほ場整備事業、小規模土地改良事業等の投資的経費に対しての補助金を計上するとともに、基盤整備のより充実を図るため、幹線農道整備事業のほか、育成牧場関係費、農業用施設等補修用材料費等を計上いたしました。

林業費として、洲崎御手洗山治山事業に係る経費を、水産業費といたしましては、水産物の安定的供給及び水産資源の開発を図るため、中間育成用築磯事業、魚礁設置事業をはじめ増養殖場造成改良事業、漁船、漁業近代化施設整備事業等について各事業主体に対する補助金を、また、下原香地区漁港、洲崎漁港、波左間漁港をはじめとする市管理漁港の整備、船形漁港及び富崎漁港の県営漁港建設事業負担金等、水産振興対策の基盤となる漁港施設の整備充実と、つくり育てる漁業を一層推進するための経費を計上いたしまして、農林水産業費総額で5億3643万余円、前年度対比4285万余円、7.4%の減、構成比は5.7%となっております。減額の主な理由といたしましては、農業費におきまして、5ヵ年計画で実施してまいりました農免道路整備事業の完了により、また、水産業費におきまして、相浜漁港に建設をいたしました荷さばき施設に係る流通等改善施設整備事業及びヒラメ養殖パイロット事業に対する補助金のそれぞれ減額によるものでございます。

第7款商工費は、多様化する消費動向に対応すべく、商店街近代化に向けての実施計画策定事業等、商工業の推進及び中小企業の振興を図るための各種補助金、中小企業融資預託金等を計上いたしました。また、観光費につきましては、多季型観光地として推進を図るため既設施設の有効な利活用と合わせ、観光振興と地域活性化対策の一環として、山本地区に加えて西岬見物地内に設置を予定する館山スポーツの里施設整備事業費、各種

観光行事への補助金及び海水浴場関連経費等を計上いたしまして、商工費総額で1億9156万余円、前年度対比5508万余円、40.4%の増となっております。主な理由といたしましては、館山スポーツの里づくりに係る館山市観光振興事業補助金5500万円によるものでございます。

第8款土木費は、快適な生活環境及び都市形態の充実に図るため、館山駅周辺市街地整備をはじめバイパス建設の促進を含め、道路交通網の整備のほか、都市下水路整備、道路新設改良及び維持補修費、河川排水路及び港湾整備費、館山駅東地区再開発に伴う調査費及び整備用地等購入費、都市計画街路整備費及び街路用地購入費、また、観光の拠点として、市民の憩いの場としての城山公園、中央公園等、公園整備費、館山運動公園整備に係る負担金等で、総額14億5477万余円で前年度対比290万余円の減、構成比は15.5%となっております。

増額の主な内容といたしましては、橋梁費で1915万円、都市計画総務費で1億2116万余円、これは市街地再開発に伴う調査費及び事業推進に必要な用地等購入費等によるものでございます。また、減額の主な内容といたしましては、道路橋梁総務費で2889万円、都市下水路費で下水路工事費及び地域排水路整備事業に伴う負担金等で4191万余円、公園費では、城山公園整備事業費及び館山運動公園整備事業負担金等で6467万余円でございますが、都市下水路費、公園費につきましては、国庫補助金の抑制により事業費が縮減される見込みによるものでございます。

第9款消防費は、年次的に整備を進めております防火水槽の建設及び修繕費、消防自動車購入費等消防施設の整備、充実に図るとともに消防団関係経費、広域消防に係る負担金等で総額3億7754万余円、前年度対比1490万余円の増、構成比で4.0%となっております。

第10款教育費につきましては、従来から教育環境の向上を推進するため、年次的に教育諸施設の整備充実に意を用いてまいりましたが、本年度におきましては、小学校費で九重小学校校舎改築事業費及び富崎小学校屋内運動場改築事業費のほか施設の維持管理に要する経費を、幼稚園費では、那古幼稚園園舎改築事業費及び前年度完成をいたしました館山幼稚園につきまして、本年度より2カ年を予定して通園用道路の整備を実施することに伴う道路用地購入費等を計上いたしました。

社会教育費では、公民館をはじめ諸施設の有効利用を推進するため、生涯教育講座をはじめ各種文化教養講座の開催、図書館図書の実用及び図書館のサービス拡大のため移動図書館車の購入、博物館展示資料購入及び施設の維持管理等の経費を、また、保健体育費では、健康、体力づくりの基本となるスポーツの振興を図るため、若潮マラソン大会費をはじめ社会体育の振興と社会体育施設の維持管理に必要な経費を計上いたしまして、教育費総額で14億7828万余円、前年度対比2890万余円の増、構成比では15.8%となっております。

主な内容といたしましては、小学校建設費で6971万余円、幼稚園建設費で6721万余円をそれぞれ増額し、減額といたしましては、小学校の学校管理費で館野小学校用地購入費等により7455万余円、社会教育総務費で5914万円、これは西岬西地区公民館の完成によるものでございます。

第11款災害復旧費は、農業施設災害復旧費等で500万余円、前年度対比500万余円の減となっております。

第12款公債費は、12億4848万円の前年度対比1億4468万余円の増、構成比で13.3%となっております。

第13款諸支出金は5130万円、第14款予備費は、前年度同額の2000万円をそれぞれ計上いたしました。

以上、一般会計当初予算に計上いたしました内容の概要について御説明申し上げましたが、引き続き予想される厳しい財政状況下で、今後の補正財源として特別交付税、前年度繰越金等がございますが、これらにつきましては当初予測できなかった事務事業、また、職員の給与改定が実施された場合等、今後の追加需要財源に充てたいと考えております。

次に、継続費といたしまして、本年度より3カ年で実施を予定しております防災行政無線整備事業費について設定し、債務負担行為といたしましては、館山市農業協同組合が、農道整備資金として農林漁業金融公庫から融資を受けた借入金の償還に対する補助について設定いたしました。

地方債といたしましては、防災行政無線整備事業のほか10件、また、歳計現金の一時不足に備えて一時借入金の最高限度額を10億円と定めることといたしました。



以上が議案第1号の概要でございますが、次に、議案第2号から順次その概要を申し上げます。

まず、議案第2号昭和60年度館山市国民健康保健特別会計予算についてでございますが、前年度に退職者医療制度の新設や国庫補助率の引き下げがございましたのでこれらを考慮するとともに、老人保健拠出金及び診療費の増高を見込み、歳入につきましては財政調整基金の一部を活用いたしまして、歳入歳出それぞれ24億2750万余円を計上いたしました。なお、国民健康保険税につきましては、本算定まで流動的な要素もございますので、今後十分な検討を加えてまいりたいと考えております。

次に、議案第3号昭和60年度館山市老人保健特別会計予算でございますが、老人医療の受診率等59年度の実績を勘案いたしまして、歳入歳出それぞれ21億3079万余円を計上いたしました。

次に、議案第4号昭和60年度館山市と畜場特別会計予算でございますが、6カ月の休場措置に伴う予算編成をいたしまして、地方債の繰上償還に係る公債費を含め、歳入歳出それぞれ660万余円を計上いたしました。

次に、議案第5号昭和60年度館山市ユースホステル特別会計予算でございますが、運営経費として、歳入歳出それぞれ2401万余円を計上いたしました。

次に、議案第6号昭和60年度館山市学童災害共済事業特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ216万余円を計上いたしました。

次に、議案第7号昭和60年度館山市水道事業特別会計予算でございますが、収益的収入につきましては、水道料金、手数料等で5億8621万余円、これに対し収益的支出として、営業費用、企業債利息等で5億7119万円を、資本的収入といたしまして、一般会計からの出資金及び加入者分担金等で8526万余円、資本的支出といたしまして、建設改良費等工事費、企業債償還金等で4億3223万余円をそれぞれ計上いたしました。

本年度事業の主なものといたしましては、九重地区のさく井及び拡張事業の実施設計、浄水施設の建設等でございます。

次に、議案第8号昭和60年度館山市国民宿舎事業特別会計予算でございますが、収益的収入につきましては、宿泊料金等で2億1139万余円、

収益的支出として、営業費用、企業債利息等で2億1139万余円、資本的支出につきましては、企業債償還金で1608万余円を計上いたしました。

以上、各会計の昭和60年度予算の概要につきまして御説明申し上げますが、一般会計及び特別会計予算規模は151億7895万余円でございます。

次に、議案第9号安房郡市広域市町村圏事務組合理事長より協議がなされたものについてでございますが、規約中、組合が共同処理する事務のうち、不燃物処理施設関係の事務を廃止し、新たに粗大ごみ処理施設関係の事務及び精神薄弱者更生施設への助成に関する事務を追加することにつきまして、安房郡市広域市町村圏事務組合理事長より協議がなされたものでございます。

次に、議案第10号国民健康保険山武郡南病院組合を千葉縣市町村公平委員会から除くこと及び千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてでございますが、千葉縣市町村総合事務組合理事長より、千葉縣市町村公平委員会共同設置団体の国民健康保険山武郡南病院組合が昭和60年3月31日付をもって解散する旨届出があったので、同病院組合を共同設置団体から除くこと及び共同設置規約の一部を改正することについて協議がなされたものでございます。

次に、議案第11号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、各種行政委員会等の委員及びその他の特別職の現行の報酬額は昭和57年4月に改定したもので、その後、諸物価の上昇、県内各市との均衡等を考慮いたしまして、昭和60年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

また、図書館長の項につきましては、これを廃止し、行政事務嘱託員を新たに非常勤特別職として加えようとするものでございます。

次に、議案第12号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、地方税法及び国有資産等所在市町村交付金及び納付金に関する法律の一部を改正する法律案が昨年12月国会において可決、同月25日公布、昭和60年4月1日から施行されることとなりましたので、

館山市市税条例もこの法律にあわせて改正しようとするものでございます。

改正の内容でございますが、日本専売公社が日本たばこ産業株式会社に改組され、経営形態が変更されますので、これに基づき市たばこ消費税の条文を全面的に改正しようとするものでございます。なお、詳細につきましては、説明資料により御了承賜りたいと存じます。

次に、議案第13号字の区域及び名称の変更についてでございますが、これは、県営は場整備事業の一環として、土地改良法第85条第1項の規定により事業を施行し、完了いたしましたので、地方自治法第260条第1項の規定により、字の区域及び名称を変更しようとするものでございます。その区域及び名称は、館山市大字稲及び二子の各一部でございます。

なお、詳細につきましては、説明資料により御了承賜りたいと存じます。

次に、議案第14号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、近隣市町村との均衡等を考慮いたしまして、昭和60年4月1日から幼稚園長兼務手当の額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第15号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、団員の報酬額につきましては、現行の報酬額は昭和57年4月に改定したもので、その後、諸物価の上昇、近隣市町村との均衡等を考慮いたしまして、昭和60年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第16号館山市洲崎御手洗山治山事業分担金徴収条例の制定についてでございますが、降雨により、市内洲崎地区内の御手洗山斜面が崩壊する被害がありましたので、その修復工事を県の補助を受けて実施することに伴う受益者の負担について、新たに分担金徴収条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第17号農作物冷害対策経営資金利子補給及び損失補償の負担に関する条例を廃止する条例の制定についてでございますが、この条例の基礎となる千葉県農作物経営資金融通条例が昭和45年に廃止され、本市のこの条例につきましては、実質的に効力がなくなっているので廃止しようとするものでございます。

次に、議案第18号館山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制

定についてでございますが、現行の水道料金につきましては、昭和55年5月に改定して以来据え置いてまいりましたが、その後、諸物価等の上昇、さらには、今後の効率的な事業運営と安定した給水を図るため、本年1月水道料金等の改定について水道事業審議会に諮問、その答申に基づき、今回、水道料金及び加入者分担金をそれぞれ改正しようとするもので、水道料金の改正規定は、昭和60年5月検針の日から、分担金の改正規定は、昭和60年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第19号昭和59年度館山市一般会計補正予算（第5号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして歳入歳出それぞれ5414万7000円を追加し、総額99億1093万7000円としようとするものでございます。

歳出予算の追加の主なものといたしましては、総務費につきまして、赤字地方バス路線を維持するための補助金として577万1000円、60年度造成工事を予定しておりますコミュニティセンター西側の用地購入費として1億8101万1000円、民生費につきまして、社会福祉振興基金助成金で400万円、これは館山市社会福祉協議会が、社会福祉事業の振興と円滑な運営を行うため設置した館山市社会福祉振興基金に対し、基金づくりの醸成を図るため、助成しようとするものでございます。また、老人医療費に対する支払い基金及び国庫負担金の追加交付が翌年度精算となることに伴い、一般会計で一時補てんするため、老人保健特別会計への繰出金3517万3000円、衛生費につきまして、館山市環境保全公社補助金351万円、異常気象による渇水対策に伴い水道費用が増加したため、三芳水道企業団負担金の追加負担として1816万5000円、教育費につきまして、9月補正でお願いいたしました館野小学校用地造成工事に伴う排水路護岸工事負担金で140万円、公債費につきまして、土木債に係る償還金で、借入金融機関の変更により償還回数が年1回から2回となったこと等により地方債利子で223万6000円、また、諸支出金につきましては、財政調整基金積立金1433万円、土地開発基金繰出金18万8000円、これは基金運用利子相当分を基金へ繰り出すものでございます。

歳出予算の減額といたしましては、議会費につきまして、議員報酬の改

定実施年度の変更により213万円、民生費につきまして、社会福祉総務費では、身体障害者施設収容援護扶助費、重度障害者等福祉手当で、措置人員の減等により146万7000円、老人福祉総務費では、老人ホーム収容者の減少等により老人ホーム収容措置扶助費で420万8000円、保育所費では、臨時職員賃金で育児休業がなかったこと及び産休保母の減により206万4000円、生活保護費では、生活扶助費、医療扶助費等、扶助費総額で1950万6000円、これらは扶助対象人員の減少によるものでございます。

衛生費につきまして、予防費で、がん検診のほか各種検診事業委託料で受診者の減により480万円、じん芥処理費では、清掃センターの稼働により消耗品費、燃料費、光熱水費等で1422万5000円、ごみ処理場の埋立地掘削及び整地に係る自動車借上料で394万3000円、埋立地搬入道路及び正木衛生処理場の整備に係る原材料費で92万5000円、また、正木衛生処理場門扉等移設工事でございますが、国道127号バイパス建設事業の実施年度が変更されたことにより195万円、し尿処理費では、衛生センターに係る消耗品費及び燃料費で1000万円、清掃センター建設費では、103万7000円、これは造園工事請負費の入札残によるものでございます。

農林水産業費につきまして、農業振興費では、対象面積の減により農用地流動化奨励交付金で114万円、農地費では、農道整備事業委託料で事業費の減により388万円、農道整備事業負担金で552万8000円、これは県から借受主体に対し直接利子補給されたことによるものでございます。水産業振興費では、ヒラメ養殖パイロット事業補助金で事業費の減により150万円、漁港管理費では、下原漁港防波堤嵩上工事の事業量の変更により工事請負費で300万円、土木費につきまして、道路整備事業費では、道路台帳作成委託料で入札残により197万円、県道改良工事の事業費の減により負担金で790万円、河川費では、かにた川改修計画の調査内容の変更により委託料で195万円、港湾費では、館山港修築工事に伴う事業費の減により負担金で926万8000円、都市計画街路費では、八幡高井線及び国道127号バイパス用地の買収境界線変更により街路用地購入費で101万円、都市下水路費では、八幡都市下水路、北条中

火・水路等、工事請負費で3806万4000円、それぞれ対象事業費の減、事業量の変更等によるものでございます。また、地域排水路整備に係る用地購入費で工法変更に伴う購入面積の変更により686万1000円、対象事業費の減により負担金で1300万円、公園費では、城山公園整備費745万4000円、諏訪山公園整備費510万円、それぞれ工事請負費におきまして、補助対象額の変更及び工事内容等の変更によるものでございます。館山運動公園整備事業では、対象事業費の減額により負担金で1680万円、消防費につきましては、消火栓新設等負担金で131万7000円、これは、市営水道の配水管布設が延期されたこと等によるものでございます。

教育費につきまして、教育振興費で、要保護及び準要保護の支給対象児童の減により援助費で159万5000円、学校建設費では、那古小学校校舎増築事業費の入札残により249万8000円、以上が減額の主なものでございます。

この補正財源につきましては、地方交付税、財産収入、繰越金、市債等で1億2866万9000円の追加により充当しようとするものでございます。なお、国、県支出金、分担金及び負担金等で7452万2000円の減額がでございます。

このほかに、清掃センターの造園工事の減額に伴う継続費の補正、都市計画街路工事請負費に係る債務負担行為の廃止及び福祉作業所増築事業ほか16事業について、地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第20号昭和59年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）でございますが、歳入歳出それぞれ2423万円を追加し、総額22億8802万1000円としようとするものでございます。

歳出といたしまして、今後の受診医療費の増を見込み保険給付費で3500万円、また、老人保健拠出金では、当初見込みより老人医療費が少なかったことにより1169万9000円の減額でございます。

歳入といたしましては、国庫負担金につきまして療養給付費等負担金で855万6000円を増額し、その他補正財源といたしましては、繰越金等をもって充てようとするものでございます。

次に、議案第21号館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）でござ

いますが、歳入歳出それぞれ5754万9000円を追加し、総額18億5219万6000円としようとするものでございます。

歳出といたしまして、医療給付費で受診医療単価が当初見込みを上回ったことにより5802万9000円の増額をしようとするものでございます。

歳入といたしましては、支払基金交付金、国、県負担金で2237万6000円を増額し、その他補正財源といたしまして、議案第19号で御説明いたしました一般会計からの繰入金3517万3000円をもって充てようとするものでございます。

次に、議案第22号昭和59年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、資本的支出を2074万円減額し、総額1億1566万6000円にしようとするもので、その内容といたしましては、県道犬石、佐野間の配水管布設に伴う舗装工事を60年度実施に変更いたしましたことにより、県道舗装工事負担金の減額をするものでございます。

以上が、今回提案いたしました議案の概要でございますが、議案第9号につきましては、安房郡市広域市町村圏事務組合におきまして、県知事の許可を受ける関係から3月20日までに議決を要しますので、先議をお願いしたいと存じます。

次に、この際当面する諸問題につきまして報告申し上げます。

まず、エヌ・エム・ビーセミコンダクターの工場進出につきましては、積極的な御協力をいただきましたが、その後の経過は御案内のとおり昨年八月に開発許可があって以降、順調に工事は進捗し、本年3月には当初の計画どおり完成し、試運転後5月から本格的な操業開始の予定と伺っておりますので、とりあえず御報告申し上げます。

次に、道路交通網の整備でございますが、地域住民の理解と協力を得ながら進めております国道127号館山バイパスにつきましては、すでに62%の用地買収を終え、約2%の工事が施行される等順調に進展しております。六十年度は、平久里川以南の用地買収を積極的に進めるとともに、本路線の早期完成及び国道127号バイパス並びに国道410号の整備促進を国、県に働きかけてまいる所存でございます。

次に、大規模小売店舗の出店問題についてでございますが、58年2月

以来、第2次商業活動調整協議会において慎重な審議がなされており、前年12月には、委員の任期を延長し結審まで引き続き審議を継続することになったところでございます。本市も特別委員として参画しておりますが、地域商業の総合的な発展あるいは、改善が図られるよう配慮するとともに、市街地整備との調整を図る観点から対処してまいり所存でございます。

以上、私の所信とこのたび提案いたしました案件の概要を説明いたしますとともに、当面の諸問題について報告いたしました。詳細につきましては、御質問に応じ、私又は事務担当者からお答えいたしたいと存じます。

なお、この会期中に追加議案といたしまして、館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について審議をお願いする予定でございます。

よろしく御審議くださるようお願い申し上げます。

○議長（石井 正君） 以上で、施政方針並びに各議案の提案理由の説明を終わります。

延 会 午前11時10分

○議長（石井 正君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。

よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明3月3日から7日まで議案調査のため休会、次会は3月8日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。行政一般通告質問の締め切りは3月5日正午まででありますので、申し添えます。

○本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第1号乃至議案第22号